

財務ハイライト

(百万円)

	連結		個別	
	H21年3月期 (第11期)	H20年3月期 (第10期)	H21年3月期 (第11期)	H20年3月期 (第10期)
売上高	1,012	1,007	737	740
営業損失(△)	△67	△236	△36	△114
経常損失(△)	△72	△243	△46	△111
当期純損失(△)	△257	△422	△440	△386
一株あたり当期純損失(△)(円)	△8,007.59	△13,165.51	△13,736.84	△12,049.40
総資産	1,186	1,463	1,139	1,609
純資産	1,092	1,347	1,064	1,505
一株あたり純資産(円)	33,568.84	41,576.43	33,161.38	46,898.22
営業キャッシュ・フロー	58	△123	—	—
投資キャッシュ・フロー	△305	△85	—	—
財務キャッシュ・フロー	—	—	—	—
現金・現金同等物 期末残高	536	783	—	—

- ◆ 個別キャッシュ・フローは記載しておりません。
- ◆ 連結・個別とも、売上高はほぼ横ばい。原価率低減・コスト削減努力により、連結・個別とも、営業損失・経常損失は改善しました。
- ◆ 連結において、のれんやソフトウェア等の減損による特別損失204百万円により、連結当期純損失は257百万円となりました。
- ◆ 個別において、子会社株式評価損やソフトウェア等の減損による特別損失414百万円により、個別当期純損失は440百万円となりました。
- ◆ 借入金、社債はなく、無借金経営を継続しております。
- ◆ 自己資本比率は90.9%です。
- ◆ 上記の数値は、平成21年3月31日時点におけるものです。

会社概要 (平成21年3月31日現在)

商号 株式会社ビーマップ
 所在地 東京都文京区白山5丁目1番3号
 設立 平成10年9月4日
 資本金 1,854,247千円(平成20年3月31日現在)
 証券取引所 大阪証券取引所 ヘラクレス グロース
 従業員数 41名
 事業内容 コンテンツインフラ及びそれを活用した
 コンテンツの企画・開発・運営から構成されるモ
 バイルシステムインテグレーション事業

役員 (平成21年6月26日現在)

代表取締役社長 浅賀英雄
 取締役会長 杉野文則
 取締役 柴本猛、齋田真次郎*1
 監査役 籠浦光、平野彰*2、小林義典*2

*1 会社法第2条第15号に規定する社外取締役

*2 会社法第2条第16号に規定する社外監査役

主要な関係会社 フォーマイスターズ・システムコンサルティング
 株式会社
 株式会社インフォエックス
 株式会社フレームワークスタジオ

関連会社 株式会社エム・データ

株主メモ

決算期 3月31日
 定時株主総会 6月
 剰余金の配当を行う株主の確定日 3月31日
 株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社
 同事務取扱所 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒135-8722
 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 電話0120(288)324
 公告方法 当社のホームページに掲載しております。
<http://www.bemap.co.jp/>
 (但し、止むを得ない場合は日本経済新聞)

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店	お取引の証券会社になります。	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意		電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は枠内の上記フリーダイヤルまでご連絡下さい。

第11期 事業報告書

平成20年4月1日 ▶ 平成21年3月31日

株主の皆様へ（浅賀社長メッセージ）

株主の皆様におかれましては、益々健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、心より厚く御礼申し上げます。ここに、第11期（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）事業報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

昨年の社長就任から1年が経過いたしました。就任のご挨拶でも申し上げましたが、私の最大の任務は「早期の業績回復」のひたむきに尽きると考えております。

当社は上場以来、株主の皆様のご期待に応えるべく業務の拡大に努めてまいりました。しかし、その事業拡大方針と管理体制の整備の間の乖離が結果として毎年の欠損計上に繋がってまいりました。

私は就任後、その乖離の原因の除去に努めるとともに、着実な業務拡大の路線の基礎を固めるべく、業務体制の改革に取り組んでまいりました。昨年度において、体制的には当社の今後の発展に繋がる基盤は凡そ固められたと考えております。

当社は上場以来、携帯電話などのモバイル端末による移動者マーケティングにおいて「鉄道・通信・放送のような社会インフラストラクチャーと革新を続ける情報技術（IT）との橋渡しをする」というコンセプトで活動してまいりました。

現在、日本の経済環境は厳しい状況下にはありますが、私たちの目指すこの分野については未だ未成熟で推移してきていると考えております。

新たに進めている基盤を早急に整備し、積極的にこの分野の開拓に取組み、業績の早期回復を行う所存です。

株主の皆様のご期待に応えられるよう、今後とも全力で事業に取り組んでまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、改めてお願い申し上げます。

平成21年6月
代表取締役社長 浅賀 英雄



当期（第11期、平成21年3月期）の主な取組みと実績

会社設立以来、ビーマップは交通機関を利用する人々の物理的な動線に着目し、サービスを提供するためのインフラを提供してまいりました。

そうした中で、当期は、『テレビびたっと』提供開始や、ニンテンドースポット™への技術・企画協力等の応用領域を拡大するなどの展開を行いました。しかしながら、一部の大型案件の延伸により、売上高の伸びが不足いたしました。

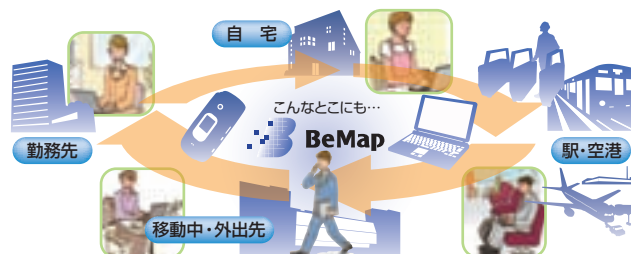
一方、赤字体質からの脱却を目指し、工数管理システムの導入による原価率低減や不採算子会社の事業休止等により、営業損失・経常損失は改善いたしました。のれんやソフトウェアの減損を行ったことで特別損失を計上した結果、純損失を払拭するには至りませんでした。

■ 平成21年3月期の主要アクション

平成20年5月:	つくばエクスプレスでの「ニンテンドースポット™」への技術・企画協力開始
平成20年6月:	新代表取締役 浅賀英雄 就任
平成20年7月:	NTTドコモ「ポケットU」を活用した『テレビびたっと』提供開始
平成20年9月:	JRトラベルナビゲータ「アプリ『のりかえ君2号』」リリース
平成21年1月:	連結子会社・株式会社Be plusの事業休止

■ ビーマップの事業ドメイン

移動者マーケティングにおいて、社会インフラと情報端末を結びつける仕組み・サービスを提供する



次期（第12期、平成22年3月期）のアクションプラン

事業面におきましては、引き続き、既存事業のうち収益力の高い分野に注力しながら進めていくとともに、重点投資分野であるメタデータ関連事業をより高収益な事業に育ててまいります。

管理面におきましては、ビーマップ本体を中心に、以下の経営改善策を実施することで、グループ全体で堅実経営の徹底を図ります。

1. 営業力の強化・売上の増加
2. 売上時期の分散化・安定収入をもたらす運用案件やライセンス販売等の受注の増加
3. 事業収益率の向上・工数管理徹底による原価率の低減&見積り精度の向上
4. 資金・資産管理・売上回収/支出/受注案件を考慮したキャッシュ・フロー管理の徹底
5. 事業・投資への投資の審査徹底・継続的なモニタリング実施
6. 業務効率の向上・内部統制の定着化

■ 物理的動線を意識した事業戦略

